

社会運動の勃興

第一次世界大戦前後の日本の急速な発展は、マス＝メディアの発達をもたらし、国内の問題を顕在化させた。また、大戦の結果として起こったロシア革命は、日本にも強い影響を与えた。こうした状況を背景として、「革命」「解放」「改造」をスローガンに、古い日本を根本的に変革していく必要があるという考えが広がった。

○ 社会運動

● 様々な運動

第一次世界大戦による産業発展・物価上昇・労働者数増加、そして、ロシア革命をうけ、日本では次の3つの動きが活発化した。

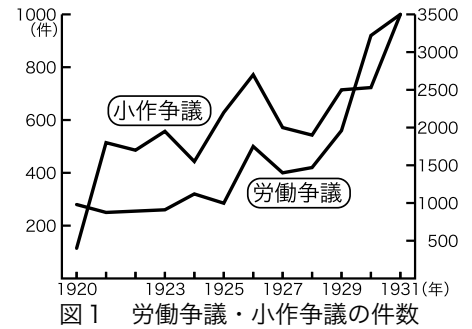
① 待遇改善を求める運動

(1) _____ …労働者の権利拡張（賃金引上げなど）を求める運動

(2) _____ …小作人が地主に小作料引下げを求める運動

② 社会主義運動（①に思想的な影響）

③ 対等な関係を求める運動（身分差別解消・女性軽視打破）



○ 待遇改善の希求

● 労働争議

1912年、労働団体⁽³⁾ _____ が⁽⁴⁾ _____ によって組織された。

→1919年、(3)は大日本労働総同盟友愛会と改称し、

1920年には、権利要求の祭典として第1回メーデーを主催した。

⇒1921年、(3)はさらに⁽⁵⁾ _____ と改称し、

雇い主との協力関係の模索を止め、敵視し対立する路線に進んだ。

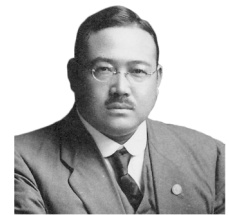


図2 鈴木文治

● 小作争議

1922年、小作人の全国組織⁽⁶⁾ _____ が、

杉山元治郎・⁽⁷⁾ _____ らによって組織された。

● 知識人の接近と啓蒙

1918年、民本主義を唱えた⁽⁸⁾ _____ は、⁽⁹⁾ _____ を組織し、民本主義の啓蒙に努めた。



(9)の影響を受けた学生らは、⁽¹⁰⁾ _____ などを組織し、労働者への社会主義思想の啓蒙に努めた。



図3 東大新人会（枠内：吉野）

○ 社会主義運動の再開

● 社会主義と関連思想

社会主義…計画的な生産と富の均等配分で、貧富の格差消滅を目指す思想

共産主義…社会主義を一層進め、消費さえも均等にしようとする思想

無政府主義…国家の政治権力を一切否定し、個人の完全な自由を目指す思想

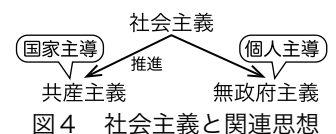


図4 社会主義と関連思想

●「冬の時代」の終わり

社会主義運動は、1910年の⁽¹¹⁾ _____ で大弾圧を受けて以降、「冬の時代」と呼ばれる不振期に入っていた。

⇒労働争議・小作争議の勢いが高まる中、社会主義者たちは活動を再開した。



社会主義者の活動や社会主義の学問的研究は、政府から制限を受けた。

- ①1920年、⁽¹²⁾ _____ が組織されたが、翌年に禁止
- ②東京帝国大学助教授⁽¹³⁾ _____ が、無政府主義の理論家クロポトキンの研究をとがめられて休職処分（森戸事件）



社会主義勢力内部では、大杉^{さかえ} 栄ら無政府主義者と、堺利彦らの共産主義者が対立していた。

→ロシア革命の影響で、共産主義の影響力が増大した。

⇒1922年、⁽¹⁴⁾ _____ が⁽¹⁵⁾ _____ ・山川均によって非合法に組織された。



図5 森戸辰男

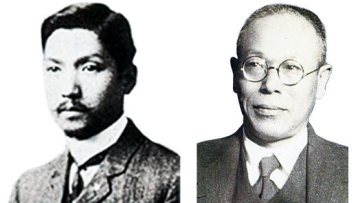


図6 大杉栄 図7 堺利彦

●女性社会主義者の活動

1921年、女性社会主義者の団体⁽¹⁶⁾ _____ が、山川^{さくえ} 菊栄・伊藤^{のえ} 野枝によって組織された。

◇(16) …「赤瀾」は赤い波を意味し、また、赤は社会主義を指す色



図8 赤瀾会の会員
*左から山川菊栄・伊藤野枝

○対等な関係の希求

●身分差別の打破

被差別民は、1871年の解放令で平民となったが、世間から差別され続けた。

⇒1922年、解放団体⁽¹⁷⁾ _____ が西光^{さいこう} 万吉^{まんきち}らによって組織された。

◇西光万吉…「人の世に熱あれ、人間に光りあれ」と結ぶ創立宣言文の起草者



図9 全国水平社の旗

●女性軽視の打破

1911年、文学団体⁽¹⁸⁾ _____ が、⁽¹⁹⁾ _____ らによって組織された。

⇒女性の地位を低く見る風潮の中、(18)はその打破を目指す運動を始めた。

◇(18) …「青鞥」は、イギリスの教養ある女性団体「ブルーストッキング」に由来

◇(19) …(18)の機関誌『⁽²⁰⁾ _____』で、「元始、女性は実に太陽であった」と宣言



1920年、⁽²¹⁾ _____ が、(19)・⁽²²⁾ _____ らによって組織された。

⇒(21)は、女性の政治集会参加を主張し、女性の地位を高める運動を進めた。

◇(22) …第二次世界大戦後、参議院議員となり活躍



1922年、⁽²³⁾ _____ 改正

…1900年に第2次⁽²⁴⁾ _____ 内閣が公布した同法5条を改正し、

女性の政治集会参加を容認



1924年、(21)は⁽²⁵⁾ _____ に発展し、女性の参政権を要求した。 図12 市川房枝



図10 『青鞥』創刊号



図11 平塚らいてう



図12 市川房枝